

# ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel.(03)3551-6218  
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

2000年(平成12年)12月5日 No. 1178

## 目次

再編が進むロシアのアルミニウム分野① .....	坂口 泉 1
CIS諸国通貨の最新為替レート .....	13

### 再編が進むロシアのアルミニウム分野①

ーロシアのアルミニウム分野に誕生する巨大企業の動きを中心にー

はじめに ロシアでは、現在、世界有数の規模のアルミニウム会社が形成されようとしている。ロシア・アルミニウムという名称の会社である。この会社の誕生に伴い、ロシアのアルミニウム分野では再編の動きが本格化しており、業界地図が大きく変化しようとしている。恐らく、この再編を契機に、ロシアのアルミニウム会社と日本の会社が、アルミニウム新地金の長期売買契約を直接結ぶというケースが増加するのではなからうか(少なくとも、ロシア側は長期契約の締結を希望してくるはずである)。また、ロシアのアルミニウム分野への日本からの融資の動きも出てくるかもしれない。

本稿では、そのような動きを踏まえ、ロシアのアルミニウム分野における業界再編の動き、再編に伴い誕生する巨大アルミニウム会社のバックグラウンドや企業戦略、あるいは、ロシアのアルミニウム分野が抱える問題点などについて紹介したいと考える。

## 1. 数字で見るロシアのアルミニウム産業の全般的状況

### (1) アルミニウム新地金の生産量の推移

ロシアのアルミニウム新地金の生産量は、ソ連解体後、一時、減少したが、1995年頃から増加に転じ、1998年にはついに生産量が300万tの大台を突破した(第1表参照)。2000年に入り国内トーリング(トーリングについては当会調査月報1999年12月号に掲載された拙稿を参照していただきたい)が廃止されたことなどもあり、減産が心配されたが、生産の堅調さは続いており、2000年も300万tの大台が維持できることはほぼ間違いない。